町政を問う（一般質問）

個々の事案への考慮無く弱者置き去りでは！

悪質常習滞納者が対象

青山（あおやま）　英樹（ひでき）　議員

税等の徴収強化は説明不十分、町民合意を！

青山　税金など滞納者からの徴収強化が図られる。滞納事案は一律でなくケースバイケースが往々にしてある。滞納整理部門に持ち込むか除外するかの基準が明確でなく、先に徴収強化の組織設置ありきは、本末転倒で内容説明も不十分な状況。町民とのコンセンサスを図るべきでは？

町長　平成19年度から「矢吹町財政再建三ヶ年計画」に取り組んだ結果、一定の効果は上がっているものの、依然として厳しい状況にある。納税は、国民の三大義務のひとつ、徴収業務をおろそかにすることは、納期内納税者との公平性を失する。町で督促状、電話催告、文書催告、訪問徴収等を複数回にわたり行うことにより納税の機会を設け、納税相談も実施している。担税能力があっても度重なる通知に無反応であったり、納税の約束も不履行を繰り返す悪質常習滞納者、滞納額が80万円以上となった高額滞納者を滞納整理課への移管対象者とする。

部活動、校外での送迎の安全は？

青山　町の力として子供の安全安心への取り組みが評価される時代が来ている。中学生の校外における土、日曜の部活動に関し、生徒の安全安心への具体的に取り組む思いを尋ねる。

現状では各生徒の現地集合が原則で、安全を保護者に委ねている。安全安心に重みが無く形骸化では？

町長　子ども達の学校行事や中体連の部活動においては、町バス利用規定に基づいての利用や町予算での民間業者委託等の対策をし、また、それ以外の任意団体主催の活動については、保護者会等による子どもの送迎には、安全を期して部活動を支えていただきたい。

教育長　招待試合や交流陸上大会、選抜選手練習会など学校外の任意団体主催の活動については、規定に基づき町バスが使用できる場合は利用し、できない場合には、できるだけ公共交通機関を使用するようお願いする。

民間企業との共創で町の企画力向上を！

青山　少子高齢化の中、持続可能な町づくりが叫ばれている。中心市街地等、大正ロマンの館などマッチングしているか。場当たり的でないか。近年、農産物の輸出等海外への攻めの成長戦略が重点的だが、民間企業との共創に舵を切り、企画力増強のもと町の優位を図るべきでないか。

町長　このまま若者が東京圏に一極集中する現在の人口移動が続いた場合、2040年には523の市町村が消滅する可能性がある、と大変ショッキングな試算結果が発表された。地域として生き残れる持続可能なまちづくりが求められる。現在取り組んでいる子育て支援策、若者定住策等、各種施策の充実、それぞれの地域特性に応じた地域づくり。中心市街地は、中心部にさまざまな施設をコンパクトに集中させる等、将来を見据えて総合計画により進める。今年度は、平成28年度からの新たな総合計画として、第6次矢吹町まちづくり総合計画の策定準備を進める。グローバル化に向けて鋭意研究を深める。

第１次～第５次
総合振興計画書

その他の質問

- 義務教育分野において小中一貫校を制度化について
- 除染作業への管理、監督は万全か